

あわじ島竹取物語 プロジェクト

(兵庫県)

淡路島では近年、西日本各地の里山と同様に放置竹林の拡大が問題になっていきます。この放置竹林を解消するために、竹材の利活用を総合的に進める必要があることから「あわじ島竹取物語プロジェクト」を立ち上げ、平成24年6月にキックオフセミナーを開催しました。

講師の松田直子さん（株式会社 Hibana 代表）から「竹の利活用による推進事例について」の講演を聞いた後、放置竹林の解消と竹材の有効利用について意見交換会を行いました。

その後、竹チップボイラーを導入した給湯施設と温風施設の現地見学を行いました。この竹チップ



▲家庭用竹チップボイラーを見学

に搬出できる方法として、簡易式ロープウインチを用いた竹材の搬出作業の研修を行いました。これまで竹材の搬出はすべて手作業で、伐採が進まない一因になっていました。参加者からは、「急斜面な

ボイラーは、当県民局が、平成23年度に家庭用や温浴施設に活用できないか検討するために試作依頼し、給湯用として個人宅に設置したものです。参加者の関心は高く、「竹チップボイラーを利用してみたい」との声が多く寄せられ、平成24年度には11台の竹チップボイラーを個人宅の給湯施設や、暖房用等として導入することができました。

また当プロジェクトでは、平成24年7月に、伐採した竹材を簡単



▲「あわじ島竹取物語プロジェクト」キックオフセミナー

どでは役に立つと思う」や「低予算で購入できれば搬出作業が楽になるのでは」との意見が出されました。

さらに、竹林整備や利活用に率先して取り組んでもらえる人材を育成するため「シニアサポーター養成講座」を開催し、参加者21名を「竹取の翁」とする認定式を平成25年3月16日に行いました。

今後は、このシニアサポーターが実施する放置竹林対策と利活用の取組みを、普及員として指導・助言していきたいと思えます。

（淡路県民局 洲本農林水産振興事務所 主任 前川尚伸）